

基調講演

教員に求められる 「スクールコミュニケーション」の スキル向上のために

弊所では一昨年来、新型コロナウイルス禍における学生のメンタルヘルスについて、この度の演者である廣川進先生からご講演をいただき、好評を得てまいりました。教育現場は従来の対面授業にほぼ戻りましたが、学生の多様化が進み、保護者の対応も複雑化し、教員の精神的・物理的な負荷は増える一方です。そこで今回は、学校やクラスの人間関係を円滑にする「スクールコミュニケーション」をとりあげます。学生や保護者、同僚を相手にコミュニケーションを円滑に進めるために、それぞれどんなスキルを身につけるべきなのでしょう。教育現場や企業での豊富な実例をもとに考え、現状を改善するヒントを提示いたします。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場経験を踏まえた、〈問題提起〉とその〈背景説明〉、〈解説〉という流れを通して、いかに有効なコミュニケーションスキルを身につけ、信頼関係を築くのか。具体的なコツのレベルで考察いたします。

〈問題提起〉 教育現場の現状
〈背景説明〉 コミュニケーション力低下と問題点の整理
〈解説〉 スクールコミュニケーションの質を高め、信頼関係を築くために
〈まとめとリフレクション〉

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理師・臨床心理士・文学博士）
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）などの官公庁や企業、クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。「職場のメンタルヘルス」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセリングなどの研修講師も勤める。
〈主な著書〉

- ・「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」が楽になる本」
ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版
- ・「キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400」金剛出版
- ・「これで解決！シゴトとココロの問題」（労働新聞社）